

## 災害時の現地調査等に係る無人航空機（ドローン）の導入について

名取市におきまして、災害時の迅速な被災状況の把握、通常時では目視困難な公共施設等の点検等に活用することを目的として無人航空機（ドローン）を導入することとなりました。

導入機器につきましては、災害時において進入危険箇所となる土砂崩壊や浸水、陥没箇所等の調査、国の災害査定時に必要となる被災箇所の写真や動画の撮影を行うとともに、通常時は、公共施設の点検調査として、目視が困難な橋梁やトンネル、長大法面の調査と、建物の屋根や壁などの劣化調査などを想定しております。このことから、ある程度の飛行時間、飛行高度、座標計算による自動運行、悪天候にも耐えうる機体を選定いたしました。

この度の無人航空機導入にあたり、下記の日程でデモ飛行運転を実施し、操作性や走行性の確認をおこないます。

また、導入に併せて、無人航空機の操縦に必要な飛行技術、関係法令の習得を目的とした講習や国家ライセンス2等の取得するなど、操縦者の育成にも取り組んでまいります。

### 記

- ・デモ飛行運転日時：令和7年9月29日（月） 13：00～15：00
- ・デモ飛行運転場所：名取市民体育館 アリーナ



災害時の状況確認



橋梁等の点検

【担当】名取市建設部土木課  
遠藤・種市 TEL：022-724-7126  
※不在の場合は折り返しご連絡します。